

山口県バイオマス活用推進計画の概要

1 目的

バイオマス活用推進基本法に基づく「山口県バイオマス活用推進計画」を策定し、本県のバイオマスの活用を総合的かつ計画的に推進

2 目標年度

平成32年度（2020年度） ※国のバイオマス活用基本計画に準拠

3 バイオマスの種類別の目標と取組方針

種類	利用率等 (現状→目標(2020年度))	取組方針
家畜排せつ物	95% → 96%	たい肥利用に加え、メタン発酵等によるエネルギー利用を推進
下水汚泥	100% → 100%	セメント原料化等に加え、メタン発酵によるエネルギー利用を推進
公共・流域	100% → 100%	
農業集落排水	93% → 100%	
漁業集落排水	99% → 100%	
黒液	100% → 100%	製紙工場のエネルギーとして利用を推進
食品廃棄物	28% → 40%	肥飼料利用に加え、メタン発酵等のエネルギー利用を推進
製材残材	84% → 95%	製紙原料等の利用に加え、エネルギー利用を推進
建設発生木材	84% → 95%	分別解体の徹底等により、肥料等の原料、エネルギー利用を推進
農作物非食用部	100% → 100%	すき込みやたい肥化により循環利用を推進
林地残材	43% → 70%	エネルギー利用の推進
竹	新たな利用法の開発 － → 2分野	新たな利用技術の開発等を推進
資源作物	ほぼゼロ → 400炭素ト	バイオエタノールの活用に向けた取組を推進

4 重点プロジェクト

現状の利用率が低く、今後の利用拡大が期待できる「食品廃棄物」、「林地残材」、「竹や資源作物」の活用を重点プロジェクトに位置付けて取組を推進

(1) 食品廃棄物活用プロジェクト

- ① 事業系生ごみリサイクルの普及
 - 事業所から排出される生ごみのたい肥化や飼料化を促進
- ② 家庭での生ごみリサイクルの普及
 - 段ボールコンポストや電気生ごみ処理機等の導入を促進
- ③ エネルギー利用の促進
 - 食品残さのメタン発酵や廃食用油の燃料化等を促進

(2) 林地残材活用プロジェクト

- ① 森林バイオマス低コスト収集・輸送システムの構築
 - 搬出間伐や素材生産と一体となった取組を支援
- ② 固定価格買取制度を活かした大規模発電システムの構築
 - 林地残材を利用する発電施設等の整備を支援
- ③ 木質ペレット燃料によるエネルギー地産・地消の推進
 - 公共施設や民間施設、農業用ハウス等への導入を支援

(3) 新技術活用プロジェクト

- ① 竹資源の活用
 - マテリアルやエネルギー利用に向けた産学公連携による取組を推進
- ② 資源作物等の活用
 - バイオエタノールの活用に向けた産学公連携による取組を推進

5 県計画の検証

県計画の進捗状況は、庁内関係課で構成する組織で毎年度検証するとともに、次のとおり中間評価と事後評価を実施

(1) 中間評価

5年後（平成29年度）に行い、目標や取組内容を見直し

(2) 事後評価

最終年度（平成32年度）に行い、取組の効果を評価